

眼科学

責任者：黒坂 大次郎 教授

教育成果（アウトカム）：

将来の一般臨床医として必要な眼科学の基礎的知識と技能とを身につける。

眼科臨床実習において、主として以下の項目を学ぶ。

1. 主要眼科疾患の知識
2. 眼科検査の特徴とその手技
3. 眼科緊急疾患の診察と応急処置
4. 眼科手術の特殊性とその基本的手技
5. 視覚障害者への医療の特徴

行動目標（SBOs）：

- *1. 患者さんに問診し、病歴を聴取してカルテに記載する。
- 2. 患者さんと十分なコミュニケーションを取る。
- *3. 眼科の基本的検査法（視力、屈折、細隙燈顕微鏡、直像鏡などの各検査）の理解と実技を修得する。
- 4. 指導医とともに外来および入院患者の診察、検査、治療に立ち合い、また許される範囲でこれらを実地に行う。
- 5. 指導医の指導のもとに手術を見学する。
- *6. 手術では手洗いをを行い、第2助手として手術に参加する。
- *7. 総回診へ参加し、症例の実際を理解する。
- 8. 担当した症例について、得られた所見の成り立ちや病態を考察し、教室員との間で、ディスカッションを行う。

特に留意すべき注意事項：

当科の実習においては以下の点に注意を払うこと。

1. 眼科の患者さんは視覚障害による不安感があり、また外来は非常に混雑しているため、患者さんに不満を抱かせることなく、安心感と信頼感を持たせて効率よく診療を進めて行くことが要求される。
2. そのためには、学生は眼科学一般の知識と検査法を予習しておかなければならない。
3. 眼科的検査を行う場合に、感染性眼疾患を被験者間で伝染させることのないよう、各検査毎にその前と後に手指の消毒を必ず行う。
4. 眼科の機械には多数の種類があり、またデリケートで高価なものが多い。取扱いは十分注意すること。もし、破損、紛失した時は指導医に直ちに連絡すること。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール [眼科学]

[第1週]

指導医師名：①黒坂大次郎教授 ②町田繁樹非常勤講師 ③木村桂講師 ④小林貴樹非常勤講師 ⑤藤原貴光非常勤講師 ⑥大関尚行助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション	予診・視力/屈折・細隙燈	手術見学と手術の助手、総回診の見学	手術見学と手術の助手
[場 所] [指導医]	[眼科カンファランスルーム、眼科病棟] ⑥	[眼科外来] ⑥	[手術場] ①②④⑤	[手術場] ①②④⑤
火	予診・視力・屈折・細隙燈・ スペキュラー・直像鏡/倒像鏡、 手術見学と手術の助手	予診・視力・屈折・細隙燈・ スペキュラー・直像鏡/倒像鏡、 手術見学と手術の助手	眼圧・スリーミラー・隅角・硝子 体・直像鏡・倒像鏡	眼圧・スリーミラー・隅角・硝子 体・直像鏡・倒像鏡
[場 所] [指導医]	[眼科外来、手術場] ①③⑤	[眼科外来、手術場] ①③⑤	[眼科外来・眼科病棟] ③⑤	[眼科外来・眼科病棟] ③⑤
水	予診・視力・屈折・細隙燈・直像 鏡・教授外来診察見学	予診・視力・屈折・細隙燈・直像 鏡・教授外来診察見学	動的量的視野・静的量的視野	特殊検査の見学
[場 所] [指導医]	[眼科外来] ①⑤	[眼科外来] ①⑤	[眼科病棟・眼科外来] ①③⑤	[眼科病棟] ①③⑤
木	予診・視力・屈折・細隙燈・直像 鏡・眼底の画像診断、 手術見学と手術の助手	予診・視力・屈折・細隙燈・直像 鏡・眼底の画像診断、 手術見学と手術の助手	手術見学と手術の助手	手術見学と手術の助手
[場 所] [指導医]	[眼科外来、手術場] ①②	[眼科外来、手術場] ①②	[手術場] ①②	[手術場] ①②⑤
金	予診・視力/屈折・細隙燈・直像 鏡・倒像鏡・眼底カメラ・電気生 理検査	予診・視力/屈折・細隙燈・直像 鏡・倒像鏡・眼底カメラ・電気生 理検査	実習のまとめと試問・評価	実習のまとめと試問・評価
[場 所] [指導医]	[眼科外来] ②	[眼科外来] ②	[眼科カンファランスルーム] ①②	[眼科カンファランスルーム] ①②

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	試視力表	2台	視力測定
診断用機械	検眼用レンズセット	1台	視力測定
診断用機械	自動屈折計	1台	屈折の測定
診断用機械	細隙燈顕微鏡	2台	角膜、前房、虹彩、隅角、水晶体、硝子体、眼底の検査
診断用機械	直像鏡	4台	眼底の検査
診断用機械	倒像鏡	4台	眼底の検査
診断用機械	隅角鏡	5台	隅角、眼底の検査
診断用機械	圧平式眼圧計	3台	眼圧の測定
診断用機械	動的量的視野計	3台	視野の測定
診断用機械	静的量的視野計	1台	視野の測定
診断用機械	中心フリッカー値測定器	1台	中心フリッカーの臨界融合頻度による視力の測定
診断用機械	レチノメーター	1台	中間透光体混濁眼の黄斑機能の測定
診断用機械	眼底カメラ	1台	眼底のカラー写真、蛍光眼底写真の撮影
診断用機械	眼科用超音波診断装置	1台	眼内病変の診断、眼軸長の測定
診断用機械	スペキュラーマイクロスコープ	1台	角膜内皮の観察と計測
診断用機械	角膜トポグラフィ	1台	角膜の弯曲度の測定
診断用機械	網膜電図記録計	1台	網膜各層別の機能検査
診断用機械	光干渉断層計	1台	生体網脈絡膜断層の形態的観察
診断用機械	眼球模型	2台	眼球構造の理解。眼底検査の実習
診断用機械	眼球・眼付属器模型	2台	眼付属器の構造の理解
診断用機械	シリンジポンプ (S-1235)	1台	眼底造影の臨床実習
診断用機械	ベリス用固視装置 (RC-7)	1台	眼底疾患の電気生理学的所見の実習
診断用機械	トノペンXL (手持トノメーター: AU-S-0635)	1台	眼圧測定の実習
診断用機械	検眼鏡 (レチノメーターコンパクト充電ハンドルセット: M-0635.001)	1台	角膜・水晶体・硝子体疾患患者の視機能検査の実習
診断用機械	投影式精査型視野計 (MT-3250D)	1台	臨床実習における症例検討
手術用機械	手術用顕微鏡、側視鏡	2台	手術見学。助手の担当
手術用機械	細隙燈顕微鏡の側視鏡	2台	前眼部、中間透光体、眼底の所見の指導
視聴覚用機械	ビデオモニター	1台	手術の過程の説明、指導
視聴覚用機械	シャウカステン	1台	X線、CT、MRI写真などの提示
視聴覚用機械	スライドプロジェクター	2台	スライド供覧による指導
実習用機械	マイクロペリメーター (MP-1)	1台	臨床実習における症例検討
実習用機械	ウェーブフロントアナライザ (KR-9000PW)	1台	〃
実習用機械	コントラスト感度測定装置 (CSV-1000HGT)	1台	〃
実習用機械	スリットランプ画像ファイリングシステム一式 (R05000)	1台	〃
その他	コピー機一式 (imagioNeo250)	1台	〃
視聴覚用機械	パソコン(Lm-A415-PL9W1)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	ガンツフェルドーム刺激ユニット (Pana)	1台	〃
視聴覚用機械	眼科用外来顕微鏡(OMS-90)	1台	〃
視聴覚用機械	超音波画像診断装置用高周波Bモードプローブ(UD-6010)	1台	〃
視聴覚用機械	フルオートマチックセルアナリシスシステム(CA-4009P)	1台	〃
視聴覚用機械	HDD&DVDレコーダー(RD-X7)	1台	〃
その他	スライド収納棚(HTAP-430)	1式	〃

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 出席点：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II、眼科 OSCE）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25 点